

インマヌエル中目黒キリスト教会

2010年9月5日 聖日礼拝

1テサロニケ連講 ⑨

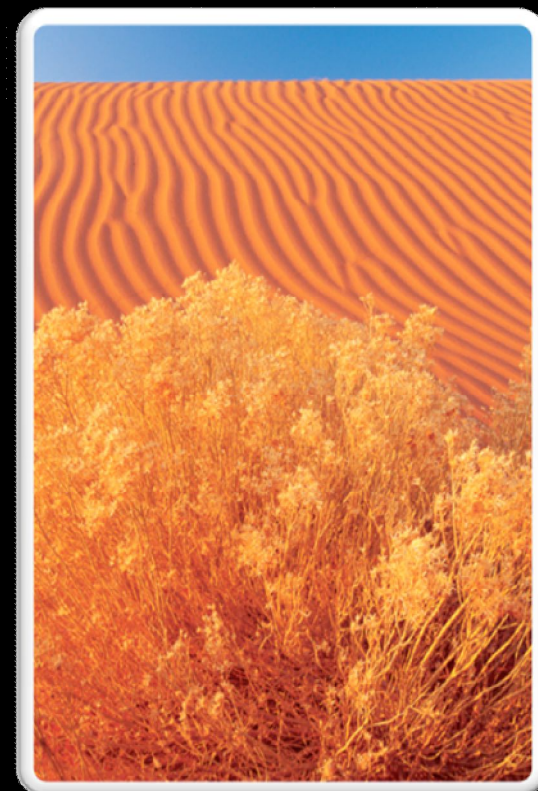
「立つのも

倒れるのも一緒」

第一テサロニケ人への手紙

3章1-10節

竿代照夫 牧師



聖書朗読

新約聖書

I テサロニケ人への手紙3章1-10節

聖書本文は新改訳聖書第三版
(©新日本聖書刊行会)を使用しています。

第二版の聖書はp365〜 / 第三版の聖書はp398〜

- 1 そこで、私たちはもはやがまんでできなくなり、私たちだけがアテネにとどまることにして、
- 2 私たちの兄弟であり、キリストの福音において神の同労者であるテモテを遣わしたのです。それは、あなたがたの信仰についてあなたがたを強め励まし、
- 3 このような苦難の中にあっても、動揺する者がひとりもないようにするためでした。あなたがた自身が知っているとおり、私たちはこのような苦難に会うように定められているのです。

4 あなたがたのところに行ったとき、私たちは苦難に会うようになる、と前もって言っておいたのですが、それが、ご承知のとおり、はたして事実となったのです。

5 そういうわけで、私も、あれ以上はがまんができず、また誘惑者があなたがたを誘惑して、私たちの労苦がむだになるようなことがあってはいけないと思って、あなたがたの信仰を知るために、彼を遣わしたのです。

6 ところが、今テモテがあなたがたのところから私たちのもとに帰って来て、あなたがたの信仰と愛について良い知らせをもたらしてくれました。また、あなたがたが、いつも私たちのことを親切に考えていて、私たちがあなたがたに会いたいと思うように、あなたがたも、しきりに私たちに会いたがっていることを、知らせてくれました。

- 7 このようなわけで、兄弟たち。私たちはあらゆる苦しみと患難のうちにも、あなたがたのことでは、その信仰によって、慰めを受けました。
- 8 あなたがたが主にあって堅く立っていてくれるなら、私たちは今、生きがいがあります。
- 9 私たちの神の御前にあって、あなたがたのことで喜んでいる私たちのこのすべての喜びのために、神にどんな感謝をささげたらよいでしょう。

10 私たちは、あなたがたの顔を見たい、信仰の不足を補いたいと、昼も夜も熱心に祈っています。

説教

1テサロニケ連講 ⑨

「立つのも

倒れるのも一緒」

第一テサロニケ人への手紙

3章1-10節

竿代照夫 牧師



主テキスト:

「あなたがたが主にあって堅く立っていてくれるなら、私たちは今、生きがいがあります。」(1テサロニケ3:8)

1. テモテの派遣 (1-5節) = 再述

- テモテの派遣
 - ① 信仰を強め、
 - ② 励まし、
 - ③ 動揺しないように守る、
 - ④ 苦難の状況を知るために
- キリスト者は苦難に遭う

2. 喜ばしい報告(6節)

- 信仰と愛を保っている
- 良き思い出を持っている
- 再会を切願している

3. パウロの喜びと感謝 (7-9節)

- 苦しみの中で慰められた
- 生きることができた
- 感謝を捧げた

4. パウロの祈り(10節)

- 早く会いたい
- 信仰の不足を補いたい

終わりに

- 共に生きる感謝を持とう
- 共に生きる責任を自覚しよう